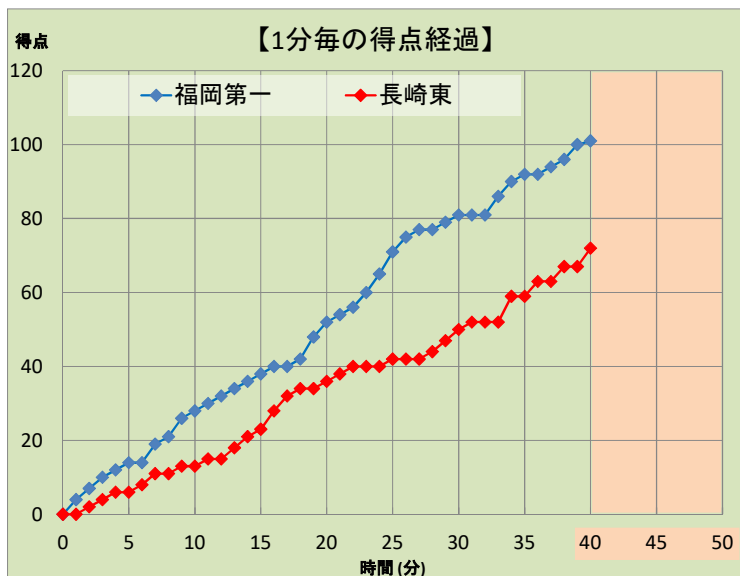


## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 15:00	
コート	Aコート	第5試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	川島 司	
第1副審	野田 宏樹	
第2副審	松田 茂治	

TEAM A			TEAM B		
福岡第一	101		72	長崎東	
福岡1位				長崎2位	
○				●	

### 【BOXスコア】

TEAM A		福岡第一高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	當山 修梧	10		5			
8	河村 勇輝	2	○		2		
13	神田 壮一郎	6	○	1	1	1	
63	齋藤 友紀	1			1	4	
23	真田 龍斗	2		1			
27	松本 宗志	2			2	2	
31	ハーバerman ローレンス ジュニア	12		4	4	1	
37	仲田 泰利	6		3		1	
40	三宅 翔りーディローチ	15		6	3		
44	内藤 凌太	4		2			
46	小川 麻斗	6	◎	2		1	
54	内尾 聡理	6	○	3			
59	山田 真史	2		1		2	
60	クベマジョセフ スティーブ	6	○	3			
65	キエキエトピー アリ	21		10	1	1	
コーチ	井手口 孝						
合計		101	3	39	14	12	

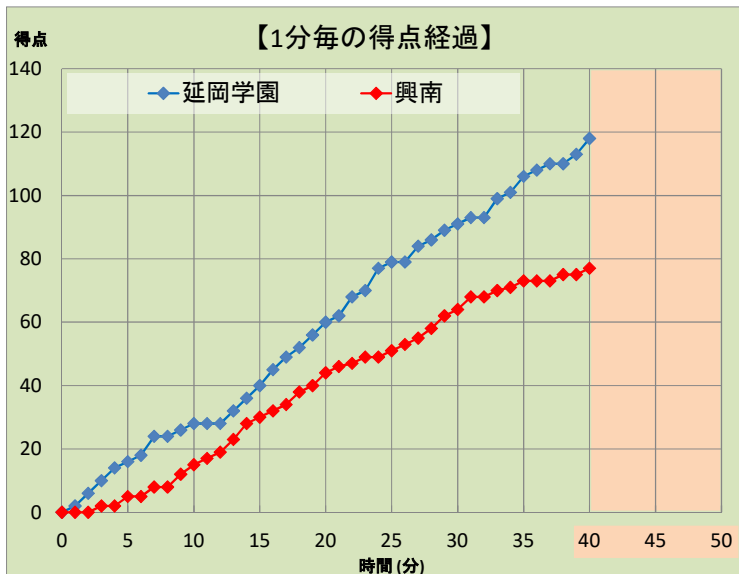
TEAM B		長崎東高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	谷川 海斗	25	◎	4	6	1	2
5	加藤 健翔	9	○	1	3		3
6	森田 真央	9	○	1	3		2
7	松本 崇士	14	○	6	2		1
8	宮田 佳祐	2		1			
9	梅本 悠吏	0					1
10	萬屋 善	5		2	1		1
11	永野 威旺	10	○	1	3	1	4
12	猪股 寛大	0					
13	市原 拓馬	0					1
14	横山 昂輝	0					
15	中田 将暉	0					
16	坂本 和寛	0					
17	大崎 蓮	0					
18	中坂 悠人	0					
コーチ	内田 直志						
合計		74	7	24	5	15	

### 【戦評】

全九州大会2回戦、福岡県1位福岡第一対長崎県1位長崎東との対戦、福岡第一のスターティングメンバーは、#8、#13、#46、#54、#60、長崎東のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#11。第1Q試合開始から福岡第一は#8、#46のガードを中心に得点を量産する。特に勢いづいたプレーは#46の連続3P、#60のダンクシュートであった。対して長崎東はアウトサイド陣のミドルショットで応戦した。開始5分、14-8と第1Q中盤は得点が停滞。均衡を破ったのは福岡第一の#65、インサイドを中心に攻めながらアウトサイド陣もバランス良く得点を重ねていった。第1Q28-13、福岡第一がリードで終了。第2Q福岡第一はインサイドのサイズを落とし機動力で勝負。開始3分で一気に差を広げる。福岡第一のブレイクで36-18。長崎東はタイムアウト後、巻き返しを図りたいところであったが、福岡第一は#31を中心に1対1でペイント内のシュートを積み重ねる。長崎東はマンツーマンからダブルチームを作りだし、セカンドリーブレイクからの得点とリバウンドからのセカンドシュートで点数を詰めていく。残り3分、福岡第一のスティールが目立ち、そのままファーストブレイクへ。点数が離れ、長崎東たまたまタイムアウト。しかし福岡第一の勢いは止まらず、52-36で前半終了。第3Q福岡第一#8がドライブで切り込んで周りの選手のレイアップ、ゴール下のショットが増え、差が広がる。長崎東は残り5分でタイムアウト。タイムアウト後、ディフェンスをマッチアップゾーンに変え、オフェンスはピックプレーを増やし、リズムの良いシュートを始め始める。しかし福岡第一の強力なインサイドと速攻の速さについていけず、81-50で第3Q終了。第4Q長崎東は#4、#11の1対1で福岡第一のディフェンスを破り奮闘するも、得点の取り合いであれば福岡第一が優勢。101-72で試合終了。点数差はついたものの、最後までひたむきに攻め続けた両者の健闘を称えたい。

**【戦評記者】** 貞包 謙  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土)	15:00
コート	Bコート	第5試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	大久保 好純	
第1副審	古後 宏和	
第2副審	西崎 拓哉	

TEAM A		TEAM B																				
延岡学園 118	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>(</td><td>28</td><td>1st</td><td>15)</td></tr> <tr><td>(</td><td>32</td><td>2nd</td><td>29)</td></tr> <tr><td>(</td><td>31</td><td>3rd</td><td>20)</td></tr> <tr><td>(</td><td>27</td><td>4th</td><td>13)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	(	28	1st	15)	(	32	2nd	29)	(	31	3rd	20)	(	27	4th	13)			OT		77 興南
(	28	1st	15)																			
(	32	2nd	29)																			
(	31	3rd	20)																			
(	27	4th	13)																			
		OT																				
宮崎1位		沖縄2位																				
○		●																				

### 【BOXスコア】

TEAM A		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中小路 優	2		1			
5	ポーグ 健	8		4		3	
6	前田 陽向	0					
7	諸石 雅也 ○	13	1	5			
8	山本 裕樹	12	2	3			
9	市川 廉太郎 ○	5	1	1		2	
10	高橋 寛太	0					
11	森下 瞬真 ◎	24	2	8	2	4	
12	片伯部 樂年	0				1	
13	水野 虎太郎	2			2		
14	伊東 和希	0					
15	MUYA KABANGU FRANCIS ○	36		17	2		
16	眞喜志 梨生	0					
17	田中 虎太郎	6	2				
18	木下 岳人 ○	10		4	2	3	
コーチ	楠元 龍水	/	/	/	/	/	
合計		118	8	43	8	13	

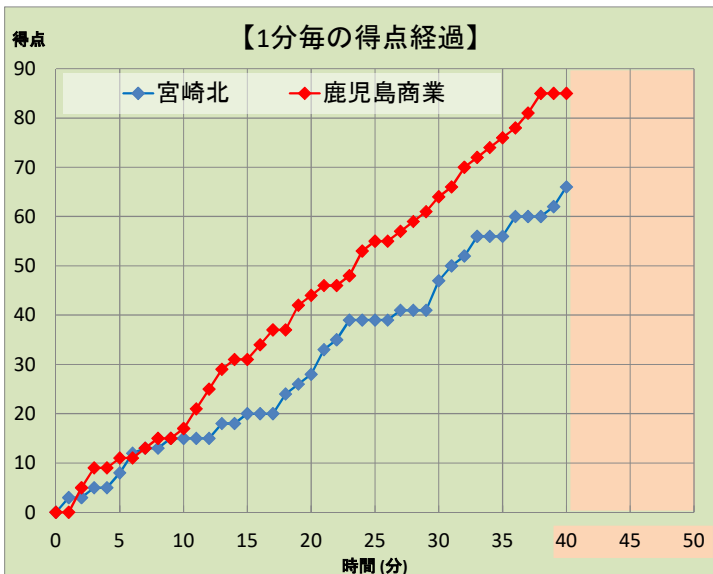
TEAM B		興南高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	名城 伶真 ◎	13		5	3	2	
5	ケリー サマル 奏 ○	20		8	4		
6	大城 達也	2		1		1	
7	比嘉 一心 ○	6		2	2	1	
8	宮城 真斗 ○	16	2	5		2	
9	金城 亮輝	2		1		1	
10	バート サスケ マーク	2		1			
11	比嘉 駿斗 ○	3	1			1	
12	仲嶺 真平	0					
13	島袋 愁己	0				1	
14	田場 翔大	0					
15	山入端 海人	0					
16	平良 草拓	0					
17	許田 重仁	13	1	3	4	1	
18	屋嘉部 篤樹	0					
コーチ	井上 公男	/	/	/	/	/	
合計		77	4	26	13	10	

### 【戦評】

全九州大会2回戦、宮崎県1位延岡学園対沖縄県2位興南との対戦、延岡学園のスターティングメンバーは、#7、#9、#11、#15、#18、興南のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#8、#11で試合開始。第1Q、両チームともにマンツーマンでスタート。出だしは延岡学園の連続10得点で興南のタイムアウト。興南は前からプレッシャーをかけるも、ゴール下の延岡学園#15にボールを集められリズムを作れず。延岡学園は相手のシュートミスからリバウンドを取って#18、#11の早い展開で確実に得点。興南は#8の3Pで13点差。第2Q、興南#5の速攻で連続2P。延岡学園は2Qの出だしのリズムが悪くタイムアウト。興南は取られたら取り返す早いオフェンスから#17の3Pなどでリズムを作っていく。しかし、延岡学園も#15にボールを集め落ち着いて得点を重ねていく。一進一退が続くなかでも延岡学園が相手のミスを確実に点数につなげて16点差で前半を終える。前半の出だしは興南のディフェンスがあまり機能していなかったが、途中から自分たちのリズムを取り戻した。それに対して、延岡学園は点差を詰められても慌てることなく自分たちの持ち味を発揮。第3Q、延岡学園#15のリバウンドショットでスタート。その後も#15にボール集め得点。延岡学園の速攻から#9の3Pで26点差がついて、興南のタイムアウト。しかし、延岡学園の勢いは止まらずインサイド、アウトサイドとバランスよく得点を重ねる。第4Q、何とか一矢報いたい興南であったが、なかなか点差がつかまらない。延岡学園はメンバーを入れ替え100点ゲームで試合終了。ディフェンスから自分たちの流れを作りたいかった興南に対して、延岡学園#18、#11からセンター#15にボールを集め、多彩なオフェンスでバランスよく着実に得点を積み重ねていった延岡学園の見事な勝利であった。

【戦評記者】 横屋 信夫  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	15:00
コート	Eコート	第5試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	柿原 実	
副審	山田 隆一	

TEAM A			TEAM B		
宮崎北	66		85	鹿児島商業	
宮崎3位				鹿児島3位	
		●			○

### 【BOXスコア】

TEAM A		宮崎北高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	ナロン 恭平 マイケル	◎ 29	3	7	6	2	
2	吉武 那朗	0					
3	泰田 知岳	0					
4	田中 駿也	○ 6		2	2	1	
5	馬場 大輔	○ 4		2		1	
6	富永 大稀	2		1		2	
7	仁田脇 青空	0					
8	池上 颯陽	0					
9	長友 太志	○ 12		6		4	
10	長友 大悟	0					
11	村田 夏生	○ 9	1	3		1	
12	牛島 涼	2		1		1	
13	板井 成樹	2		1			
14	馬崎 湧	0					
91	丸茂 護人	0					
コーチ	米田 史彦						
合計		66	4	23	8	12	

TEAM B		鹿児島商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	前田 聖也	0				1	
3	山本 来毅	14		6	2	2	
11	赤崎 慧	0					
13	濱田 恋叶	0					
18	板敷 遼	○ 12		6		1	
19	巖 泰夏	0					
23	中元 聡師	◎ 9		4	1	1	
24	中村 輝一	2		1			
25	宮原 悠志	0					
32	益園 涼歌	0					
34	渡邊 嵩大	0					
36	深川 拓真	○ 5	1	1		4	
42	植益 顕	0					
45	中間 陸斗	○ 16		8			
51	村田 拓海	○ 27	2	9	3	1	
コーチ	伊藤 泰孝						
合計		85	3	35	6	10	

### 【戦評】

2回戦、宮崎県3位宮崎北対鹿児島県3位鹿児島商業の対戦となった。スターティングメンバーは、宮崎北が#1、#4、#5、#9、#11、鹿児島商業は#18、#23、#36、#45、#51。第1Q、両チームともにマンツーマンでスタート。鹿児島商業は#51の3ポイントシュート、#18のインターセプトからのジャンプシュートでリードするが、宮崎北は#11、#5、#1のシュートなどで応戦した。両チームが持ち味を発揮する展開となり、第1Qは、17対15で鹿児島商業リードで終了。第2Q、鹿児島商業は#18、#51のドライブで得点、宮崎北はディフェンスを1-3-1のゾーンディフェンスに変え、点差を詰めようとするが、鹿児島商業は#45のリバウンドシュートなどで、残り5分でリードをこの試合最大の13点差に広げる。宮崎北は#1を起点にした攻撃をするが、鹿児島商業も速攻の手を緩めず、#36の3ポイントシュート、#3のドライブなどで得点を重ね、第2Qを44対28の鹿児島商業リードで終了。第3Q、宮崎北が速攻から#11のゴール下シュート、#1のレイアップで9点差に詰めるが、鹿児島商業が#51の3ポイントと速攻からのレイアップなどで、残り5分でリードを16点差に広げ、宮崎北がタイムアウト。その後、一進一退の攻防が続き、第3Qを鹿児島商業が64対47でリードして終了。第4Qは開始早々、宮崎北が#1の3ポイントシュートで追いつけるが、鹿児島商業は速攻や#45のリバウンドシュートなどで得点を重ねる。最後まで鹿児島商業の速攻からの得点が続く、85対66で鹿児島商業がトランジションの速い試合を制し、準決勝に進出した。

【戦評記者】 石井 雅太  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	15:00
コート	Fコート	第5試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	志岐 幸次朗	
副審	松浦 智光	

TEAM A		TEAM B	
小禄	81	65	星翔
沖縄3位			熊本3位
○			●

### 【BOXスコア】

TEAM A		小禄高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	仲座 空良	◎	3	1		1	
5	山本 涉夢	○	20	8	4	2	
6	大田 浩人	○	12	6		2	
7	備瀬 力斗	○	16	7	2	2	
8	平良 一洋		22	4	5	1	
9	平敷 陸斗		0				
10	安里 柊		0				
11	金城 孝俊		0				
12	又吉 本丸	○	8	4		2	
13	當山 幸弥		0				
14	我喜屋 瑞		0				
15	池宮城 光貴		0				
16	花城 怜翼		0				
17	上原 滉生		0				
18	波平 航		0				
コーチ	源古 隆						
合計		81	5	30	6	10	

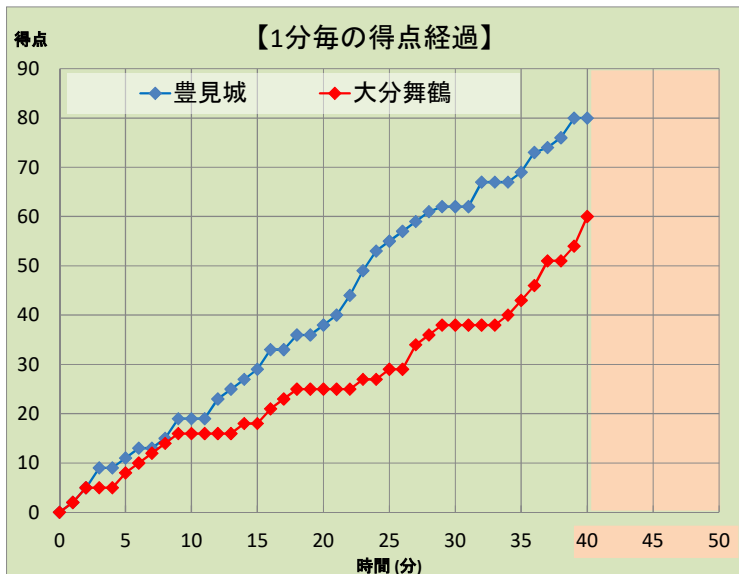
TEAM B		星翔高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中山 莉久	◎	23	6	2	1	
5	揚野 克基	○	8	2	1	4	
6	清成 将平		0				
7	藤本 翼	○	15	7	1		
8	中村 友哉	○	10	5		1	
9	白石 京介	○	9	1	3	2	
10	石村 祐斗		0				
11	木山 陸		0				
12	瀬井 泰斗		0			1	
13	甲斐 惣士朗		0			1	
14	坂本 泰平		0				
15	米村 大河		0				
16	白石 瞬		0				
17	西野 恵人		0				
18	森山 拓		0				
コーチ	本郷 宏						
合計		65	9	18	2	10	

### 【戦評】

全九州大会2回戦、沖縄県3位小禄高校と熊本県3位東海大星翔高校の対戦、スターティングメンバーは小禄#4、#5、#6、#7、#12、東海大星翔#4、#5、#7、#8、#9。1Q、小禄が先制点を挙げオールコートでの激しいディフェンスを行い主導権を握る。東海大星翔は#4、#5、#9の3ポイントで得点して点差を縮め、21-20で終わった。2Qは、小禄は#8のガードポジションからインサイドのスペースをついたパスと力強いドライブを中心として得点し、東海大星翔は#7のリバウンドとポストプレイで得点した。前半ははじめ、小禄がリードを守っていたが東海大星翔#4の連続3ポイントで同点となり、両チーム一進一退の攻防が続く展開となった。3Qは、小禄は#7、#8がガードポジションからインサイドにパスを飛ばすも思うように得点に結びつけることができない苦しい展開から始まった。東海大星翔は#5から#7への合わせや#4の3ポイントなどで得点しリードした。その後、小禄#8の連続得点#7のドライブにより62-55と再び小禄がリードし3Qを終えた。4Q、小禄の勢いは留まらず、#7から#5への合わせや#7、#8の速攻でリードする展開から始まった。東海大星翔も#4の3ポイント#7のインサイドプレイで得点するも点差は埋まらず81-65で試合終了となった。互いの気持ちがぶつかり合う熱い試合であった。

**【戦評記者】** 萱嶋 勝平  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 16:30	
コート	Aコート	第6試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	山口 勝真	
第1副審	小川 隆三	
第2副審	野田 明男	

TEAM A			TEAM B		
豊見城	80		60	大分舞鶴	
沖縄1位				大分1位	
○				●	

19	1st	16
19	2nd	9
24	3rd	13
18	4th	22
OT		

### 【BOXスコア】

TEAM A		豊見城高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	比嘉 颯人	2		1		1	
5	渡久地 政睦	7	1		4	1	
6	伊良部 龍侍	2		1		1	
7	赤嶺 有奎	6		3		1	
8	喜納 秀雅	0				2	
9	長濱 凌	2		1		3	
10	桃原 奨	10	1	3	1		
11	嘉敷 啓希	20		10		1	
12	新垣 隆太	8		4			
13	元長 亮介	9		4	1		
14	登川 莉玖士	3		1	1		
15	諸見田 敬介	7	1	2		1	
16	伊敷 鉦太郎	2		1			
17	赤嶺 敬将	2		1		1	
18	知念 拓己	0				1	
コーチ	嘉陽 宗紀						
合計		80	3	32	7	13	

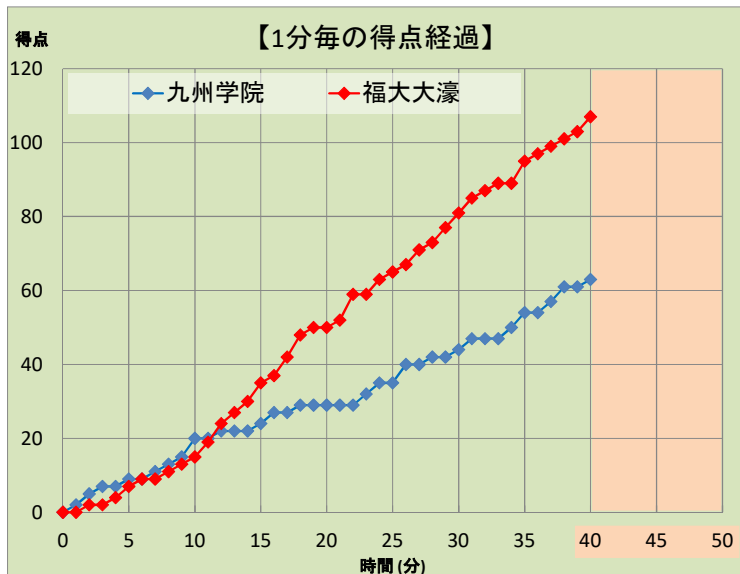
TEAM B		大分舞鶴高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小畑 莉大	2		1			
5	池田 優	19	3	3	4	2	
6	佐藤 夏羽	3	1			2	
7	日高 圭佑	0					
8	芝田 亮輔	0					
9	今井 駿	2		1		2	
10	近藤 怜己	6		3		3	
11	高森 雄太	0					
12	上山 隼人	15	2	4	1	3	
13	加藤 大智	13	3	1	2	1	
14	小野 拓海	0				2	
15	檜垣 太一	0					
16	高橋 伊緒理	0					
17	武市 太陽	0					
18	首藤 楓斗	0					
コーチ	池田 剛						
合計		60	9	13	7	15	

### 【戦評】

全九州大会2回戦、沖縄県1位豊見城対大分県1位大分舞鶴との対戦、豊見城のスターティングメンバーは、#5、#7、#11、#13、#15、大分舞鶴のスターティングメンバーは、#4、#5、#10、#12、#13で試合開始。第1Q豊見城#11のジャンプショットで先制。大分舞鶴はセットプレーで返す。ディフェンスは両チームともマンツーマンでスタート。大分舞鶴は積極的にダブルチームを仕掛け相手のペースを崩しにかかる。両チームとも粘り強く守り膠着状態が続くが、豊見城がうまくペイントエリアを攻め19-16豊見城リードで第1Q終了。第2Qスタートから豊見城#11がオフエンスリバウンドから得点し、#13がポストアップからペイントエリアを攻め豊見城連続得点で大分舞鶴タイムアウト。しかし流れは変わらず豊見城がミスマッチをうまく攻めゲームの主導権を握る。残り5分大分舞鶴が強気なドライブから得点すると1-2-1-1のゾーンプレスを仕掛け1度は流れを引き寄せるが豊見城がリバウンドを制し点差は変わらず38-25豊見城リードで前半終了。第3Q大分舞鶴は1-3-1ゾーンディフェンス、豊見城は1-2-2からのマッチアップゾーン。豊見城がギャップを攻め確実にジャンプショットを決め得点を重ね、開始2分46-26で大分舞鶴タイムアウト。大分舞鶴はセットプレーから得点するが、豊見城のディフェンスに苦しめられ点差が広がる。残り5分豊見城はメンバーを変えながら激しいディフェンスを続け62-38豊見城リードで第3Q終了。第4Q両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。豊見城はメンバーチェンジをしながら粘り強いディフェンスを続ける。大分舞鶴は早いパス回しから連続3Pで喰らいつき最後まで諦めず脚を動かして懸命にディフェンスをしたが、豊見城が逃げ切り80-60で豊見城が勝利。

【戦評記者】 大石 仁人  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 16:30	
コート	Bコート	第6試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	原田 拓朗	
第1副審	樋口 俊司	
第2副審	佐久間 飛人	

TEAM A		TEAM B															
九州学院 63	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">20</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1st</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">15</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2nd</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">35</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">15</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3rd</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">31</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">19</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4th</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">26</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: none; text-align: center;">OT</td> </tr> </table>	20	1st	15	9	2nd	35	15	3rd	31	19	4th	26	OT			107 福大大濠
20	1st	15															
9	2nd	35															
15	3rd	31															
19	4th	26															
OT																	
熊本1位		福岡2位															
●		○															

### 【BOXスコア】

TEAM A		九州学院高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	跡部 晃基	◎ 14		5	4	1	
5	大内 一慶	○ 15		5	5	4	
6	露木 真弥	0					
7	西村 仁	0					
8	堤 玲太	○ 4		2		4	
9	福田 大斗	0					
10	野美山 翔馬	0					
11	窪田 俊祐	0					
12	中野 友都	○ 21	2	4	7		
13	大城 瑞樹	3	1				
14	井上 雅士	○ 6		3		3	
15	古川 侃	0					
コーチ	田中 洋平						
合計		63	3	19	16	12	

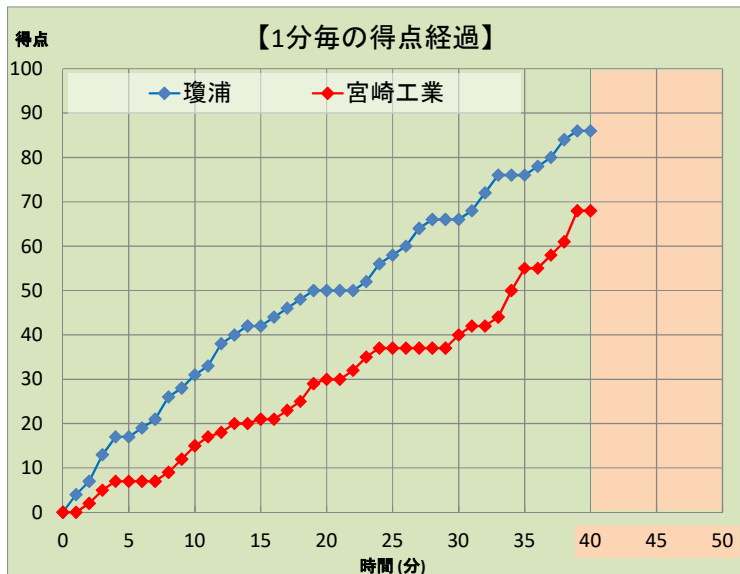
TEAM B		福大大濠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	西田 公陽	◎ 12		4	4	1	
5	高木 寛大	7		3	1	4	
6	田邊 太一	○ 23		10	3	3	
7	間山 柊	○ 2		1		1	
8	木林 優	○ 6		3		1	
9	西田 陽成	19	3	5			
10	平松 克樹	4		2			
11	杉 渉夢	2		1		1	
12	山際 爽吾	2		1			
13	原田 大和	6		3		2	
14	横地 聖真	○ 14		7			
15	岩橋 史門	4		1	2	3	
16	廣政 遼馬	6		3		2	
17	大浦 禪次郎	0					
18	渡辺 康太	0					
コーチ	片峯 聡太						
合計		107	3	44	10	18	

### 【戦評】

全九州大会2回戦、熊本県1位九州学院対福岡県2位福大大濠との対戦、チームAのスターティングメンバーは、#4、#5、#8、#12、#14、チームBのスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#8、#14で試合開始。第1Q九州学院は2-1-2ゾーンディフェンス、福大大濠はハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がり九州学院は積極的なドライブとカットリングでペイントアタックを成功させリードを奪う。福大大濠は九州学院のチェンジングディフェンスに対してしっかりペイント内を攻めファウルを獲得し反撃開始したが追いつくまでには至らず、20対15の九州学院5点リードで第1Q終了。第2Q福大大濠は#4のアシストから#8、#6のゴール下で連続得点で逆転に成功する。九州学院は#5の個人技で対抗するが決めきれず10点のリードを奪われる。九州学院はセットオフenseから積極的に#4、#5、#14が攻めるがチームファウルが増える。福大大濠は#9の3Pが効果的に決まり、残り4分から速攻やペイントアタックで得点し29対50の福大大濠リードで前半終了。序盤は九州学院のペースであったが第2Qから一気に福大大濠が突き放しにかかる展開となった。第3Q立ち上がりから福大大濠はペイント内での得点が増し九州学院はセットオフenseで対抗するが苦しい展開となる。ディフェンスから速攻を主体に福大大濠が更に点差を広げ44対81の福大大濠がリードで終了。第4Q九州学院はナンバープレーで#4、#5のシュートを増やそうと試みるが、早い展開で福大大濠が圧倒し63対107で試合終了。序盤九州学院はタフな攻防を見せたが、福大大濠の強さが光った試合となった。

【戦評記者】 足立 亮一  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	16:30
コート	Eコート	第6試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	天久 朝貴	
副審	白銀 将信	

TEAM A		TEAM B															
瓊浦	86	68 宮崎工業															
長崎3位	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>31</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>28</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	31	1st	15	19	2nd	15	16	3rd	10	20	4th	28	OT			宮崎4位
31	1st	15															
19	2nd	15															
16	3rd	10															
20	4th	28															
OT																	
○		●															

### 【BOXスコア】

TEAM A		瓊浦高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松村 凱士貴	0					
5	西野 浩史	○ 19	2	4	5		
6	片岡 耕介	○ 9	1	3		2	
7	寺崎 廉	0					
8	前川 浩人	0				1	
9	宇野 秀太	4		2			
10	岩崎 海凾人	○ 11	1	4			
11	松村 生	10		5		2	
12	山田 薫	0					
13	寺島 憧	0					
14	高比良 舜	0					
15	ンゲンザ アーノルド	○ 4		2		1	
16	江頭 永遠	0					
17	喜多 伊総	◎ 19	4	3	1	1	
18	中川 英士	10		5			
コーチ	埴生 浩二	/	/	/	/	/	
合計		86	8	28	6	7	

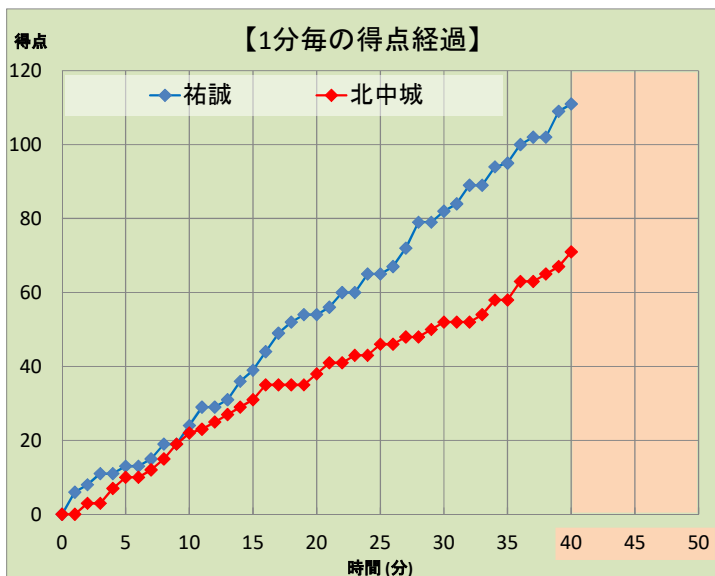
TEAM B		宮崎工業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	森 友希	◎ 2		1		3	
5	岩瀬 涼	○ 10		5		2	
6	中野 快飛	○ 2		1		3	
7	中間 諒	○ 7	2		1	1	
8	堀田 大雅	2		1			
9	三田 真渡	3	1			1	
10	溝神 賢斗	8	1	2	1		
11	古賀 翔大	6	2				
12	森山 晃貴	1			1		
13	石本 歩夢	○ 2		1			
14	黒木 朋也	8	2	1			
15	木谷 陽斗	4	1		1		
16	松崎 純平	5	1	1		1	
17	岩永 友希	7	1	2			
18	小野 颯介	1			1		
コーチ	橘 裕	/	/	/	/	/	
合計		68	11	15	5	11	

### 【戦評】

九州大会2回戦、長崎2位の瓊浦高校対宮崎4位の宮崎工業の対戦、瓊浦は、#5、#6、#10、#15、#17、宮崎工業は#4、#5、#6、#7、#13で試合開始。1Q、両チームハーフコートマンツーマン。瓊浦#15の高さを警戒する宮崎工業に対し、瓊浦は#17、#6、#10の3Pなど外角シュートやドライブなどで得点を重ねる。高さに慣れてきた宮崎工業はディフェンスをゾーンに変え、ミドルシュートや#7、#16の3Pで得点するが、リバウンドを支配され31対15。2Q宮崎工業のゾーンに対し、瓊浦は空いたスペースに#15が飛び込むなど攻略する。宮崎工業は#5のジャンプシュートや#6のオフェンスリバウンドに活路を見出す。50対30で前半終了。3Q宮崎工業はマンツーマンに戻し、積極的に3Pを打ってオフェンスリバウンドを狙うが、徐々にシュート率が下がる。瓊浦は、#6、#17のドライブなど、#15にディフェンスが集中する中、他のプレイヤーが着実に得点しリードを広げ、66対40。4Q宮崎工業は#14のジャンプシュートや3Pで得点し、残り6分から仕掛けたゾーンプレスで残り1分で18点差まで追い上げる。瓊浦は、ゾーンプレスに慌てた場面も見られたが、激しいディフェンスで相手のミスを誘いつつ得点し、ゾーンプレスにも次第に慣れ86対68で試合終了。

【戦評記者者】 花田 康寛  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	16:30
コート	Fコート	第6試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	藪崎 康平	
副審	坂口 幹	

TEAM A		TEAM B	
祐誠	111	71	北中城
福岡3位			沖縄4位
○			●

### 【BOXスコア】

TEAM A		祐誠高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	時川 司	◎ 48	3	15	9	
5	永富 真佑	○ 25		10	5	2
6	松尾 若将	5	1	1		1
7	松尾 海飛	○ 4		2		3
8	阿部 孝大	4		2		1
9	隈本 尚輝	3	1			
10	東野 泰士	2		1		
11	立木 広大	1			1	
12	福嶋 章悟	11	1	3	2	1
13	長田 将	0				
14	吉岡 勇哉	4		2		
15	平井 駿輔	○ 4		2		
16	西川 凌央	0				
17	竹嶋 健人	○ 0				
18	東野 友哉	0				
コーチ	三笠 富洋					
合計		111	6	38	17	8

TEAM B		北中城高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
86	目差 太郎	0				
2	比嘉 成希	9		3	3	5
30	宮城 真斗	0				
15	金城 匡軌	4		2		3
17	新垣 璃山	○ 1			1	4
25	山崎 磨柊	6		3		
31	大城 琉空	0				
32	翁長 夏生	○ 9	2	1	1	4
33	新里 祐輝	○ 0				
14	嘉陽 海斗	0				
47	津嘉山 真央	◎ 6		2	2	1
77	平川 拓叶	○ 28	4	7	2	
87	新垣 樂実	0				
88	照屋 皇樹	0				
91	玉那覇 拓巳	8		2	4	3
コーチ	安谷屋 健太					
合計		71	6	20	13	20

### 【戦評】

全九州大会2回戦、福岡県3位祐誠高校対沖縄県4位北中城高校との対戦、祐誠#4、#5、#7、#15、#17、北中城#17、#32、#33、#47、#77でスタート。第1Q、開始早々、祐誠#5、#4、#7の連続得点で攻め立てる。対する北中城は#77の連続得点で応戦し、点の取り合いが続く。22-21祐誠リードで第1Q終了。第2Q、祐誠の激しいディフェンスから立て続けにブレイクが決まり、#4のパス&ランからの多彩なオフェンスでリードを広げ、たまたま北中城タイムアウト。北中城2-2-1ゾーンプレスを仕掛け、相手のミスを誘発し、点差を縮める。お互い一步も譲らず、激しい攻防が続く。祐誠#5、#12の連続得点でリードを12点に広げたところで北中城タイムアウト。その後も祐誠が試合を優位に進め、54-38祐誠がリードを広げて第2Q終了。第3Q、引き続き激しい攻防が続く。北中城は何とか点差を縮めようと果敢に攻め続けるが、祐誠の激しいディフェンスの前になかなか点数が取れない。対する祐誠はディフェンスから流れを掴み、更にリードを広げていく。第3Qも祐誠が流れを掴み続け、82-52と祐誠が更にリードを広げる。第4Q、逆転を狙う北中城はオールコートプレスをプレッシャーをかけ続ける。北中城#2、#47、#77を中心にオフェンスを展開するが、なかなか点差を縮めることができない。対する祐誠はベンチメンバーが奮闘し、更にリードを広げていく。終始、激しいディフェンスから流れを掴み、試合を優位に進めた祐誠が111-71で勝利を取めた。対する北中城も、アツと驚くような沖縄らしいバスケットで、会場を魅了した。最後まで熱い戦いを繰り広げた両チームに称賛を送りたい。

【戦評記者】 川口 富美  
福岡県バスケットボール協会